

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターCivitas Solis（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・構造化支援を取り入れ、障害特性に合わせた個別化された支援を行っていること	・子どもさん一人ひとりの障害特性や理解、スキルのアセスメントを丁寧に行っている	・複数の部屋に区切られた建物の構造をより良く活用し、子どもさんの障害特性に基づいた支援を行う
2	・職員間で共通認識で支援を行うことができていること	・職員間でのコミュニケーションが取りやすく、日々の支援に対してもスムーズに共有でき、互いに気づきを得やすい ・共通認識で取り組むことで、限られた時間のなかで分担しながら業務を行えている	・ミーティング等を活用し、支援内容や今後の方向性について情報共有を行う時間を確保する ・業務の効率化を図るため、職員全体でゴール設定を協議し、分担して行う ・適宜、職員体制の見直しを行う
3	・保護者の方にも療育の必要性を感じて継続して利用しているだけのこと	・保護者の方とは、定期的な懇談や日々の伝達を通じて、支援内容についての情報共有を行っている ・児童発達支援から継続した療育を行うことができている ・保護者向けの学習会を開催している	・保護者の方からのニーズを把握し、子どもさんの障害特性に基づいて支援を行う ・継続して保護者向けの学習会を開催し、子どもさんの将来を踏まえ、必要な情報提供を行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用人数の増加に伴い、十分なスペース確保のため再構造化が必要である ・子どもさんの社会性や理解を踏まえ、活動設定の幅を広げたい	・建物の構造上、部屋数を増やすことでより人員が必要である ・活動設定のための職員間での協議、事前準備の時間が十分に確保できていない	・利用人数が増加した場合も、子どもさんが安心して過ごすことができるように、生活シナリオの見直し、再構造化を検討する ・定期的な振り返りを行い、活動内容を協議する
2	・放課後等デイサービスを利用の保護者向けに、事業所全体の取組を発信することができていない	・個人懇談等で子どもさんの支援については保護者の方と共有ができている一方で、定期的な通信の発行やホームページの更新が十分ではない	・定期的な通信の発行を検討し、保護者の方に事業所全体の取組を知っていただく機会をつくる
3	清掃が行き届いていない箇所や、修繕が必要な箇所がある	・日々の清掃業務は行っているが、経年劣化した部分について修繕や点検する頻度や方法が定まっていない	・定期的に建物全体の清掃および点検を行う機会を設ける

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターCivitas Solis (放課後等デイサービス)

公表日 2026年1月30日

利用児童数 20名(2026.1.30)

回収数 16/16

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	0	0		・子どもさんの様子を日々アセスメントし、特性に応じた環境設定を行えるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	0		・積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行えるようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	0		・段差や狭い部分、冷暖房が機能しにくい点は課題として考えられます。今後も、工夫しながら支援を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	0		・日々の清掃を丁寧にしています。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	2		・支援内容について、保護者の方に分かりやすいように説明を行います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	2	0	0		・支援内容について、保護者の方に分かりやすいように説明を行います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	4	5		・子どもさんの障害特性等を踏まえ、活動内容を検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	1		・契約時には、丁寧な説明に努めます。また、変更点があれば随時説明を行います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6	6	1	3		・現在は放課後デイをご利用の保護者の方向けの保護者会は行えていません。保護者のニーズ等を踏まえ、検討していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1		・相談や申入れがあった際には迅速かつ丁寧な説明に努めます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	1	2		・活動内容等に関する定期的な情報発信が行えるように協議します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3	0	2		・必要なマニュアルを策定した上で、保護者の方に周知を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	4		・定期的に防災訓練を実施します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	3		・安全の確保のための取り組みについて、保護者の方に周知を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	0	1		・事故や怪我が発生した際には、発生状況について説明を行います。さらに、再発防止に向けた対応を検討してお伝えします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		・子どもさんにとって成功体験となるよう、スモールステップで支援を行うことを心掛けます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	0	0		・引き続き、子どもさんの理解や障害特性に合わせた手立てを活用しながら、見通しを持って利用していただけるように支援を行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0		・継続して保護者の方からのニーズを把握し、子どもさんの障害特性に基づいて目標設定を行い、支援をしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
児童発達支援センターCivitas Solis (放課後等デイサービス)		2026年1月30日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			・建物の構造を活かし、活動ごとに部屋を区切っている。	・今後利用人数の増加に伴い、環境設定の見直しは課題である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・配置基準は満たしているが、利用人数も増えており課題はある。	・積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行えるようにし、職員間で工夫していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・障害特性に合わせてパーテーション等で環境設定を行い、一人ひとりの理解やスキルに合わせた情報を活用し、スケジュールを伝えている。	・段差や狭い部分が課題と思われる。工夫しながら支援を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			・支援終了後清掃を行っている。	・冷暖房が機能しにくい点などが課題と思われる。各部屋の使い方など工夫しながら支援を行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			・必要に応じて環境調整を行っている。子どもさんの状態に合わせた個別対応や理解、スキルに合わせた個別対応を行っている。	・子どもさんの状態や持っているスキルや理解を活かした活動内容での設定に合わせて必要な環境設定を行う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			・毎週職員全体でミーティングを行い、業務改善に努めている。	・ミーティングでは、職員全体で業務の振り返りを行い、改善点を共有したうえで共通認識で業務を行えるようにしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・職員全体で保護者からの評価を共有している。	・事業所、保護者向け評価それぞれを総合的に踏まえ、業務改善に努めていく。また、日々の保護者とのやりとりでお聞きしたご意見についても職員間で共有を行い、改善につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・ミーティング等で業務改善に向けた協議の場を設けている。	・職員間で定期的にコミュニケーションをとる機会を設ける。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			・現在、第三者による外部評価は行っていない。今後、法人全体で協議していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			・積極的に外部研修を受講し、報告書などを通して職員全体に共有を行っている。	・今後も積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行う。 ・研修終了後は職員間で共有し、職員全体で支援に活かしていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			・ホームページにて公開している。	・支援プログラムに基づき、支援を提供する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			・アセスメントを踏まえ、ニーズや課題を整理している。 ・年に2回モニタリングを行い、保護者との面談で計画を説明している。	・保護者からのニーズを把握し、子どもさんの理解やスキルをアセスメントしたうえで課題を整理し、目標設定を行って支援をしていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			・計画立案に際して、職員全体で検討することが出来ている。	・今後もより良い支援に繋げられるように、職員全体で協議する場を設けていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			・ミーティングで子どもさんの現状の課題や今後の支援方法、方針を共有し、職員間で一貫した支援を行うことが出来ている。	・今後も職員全体で共有する場を設け、計画に基づく支援が行えるようにしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			・事業所内で共通のツールを活用し、アセスメントを行っている。	・継続したアセスメントを実施し、個別支援計画を立てる。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			・事業所の統一書式を使い、各領域ごとに細分化した内容で個別支援計画を作成している。	・保護者の方のニーズを踏まえ、またアセスメントに基づいて支援計画を作成する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			・ミーティングを通して職員全体で情報共有や協議を行い、全員が共通認識で支援を行えるようにしている。	・活動設定の目的や目標を確認し、職員全体で支援を行えるようにする。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・週ごとに担当職員がカリキュラムを作成している。適宜見直しを行っている。	・活動が固定化しないように調整を行う。また、アセスメントを基に活動の幅が広がるように支援していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・社会性の段階に合わせてグループ編成を行い、活動を設定している。	・今後も子どもさん一人ひとりの社会性の段階に応じた機会設定を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼で情報共有を行っている。記録を取り、職員全体で共有出来ている。日々の連絡事項や役割分担はボードに示している。	・記録やボードを活用して、職員全体が共有できるように努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後には、職員間で情報共有を行っている。	・定期的に打ち合わせと振り返りを行う。また、ミーティングを開催して職員全体で共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・障害特性を軸にケース記録にまとめ、個別支援計画の作成に繋げている。	・今後も、日々の支援の記録を取り、支援の検証や改善に繋げていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年に2回、モニタリングを実施し、個別支援計画を作成している。必要に応じて見直しを行っている。	・定期的なモニタリングを行い、計画作成を実施する。面談を通して、保護者のニーズを把握し、課題を整理していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・個別支援計画に基づき、個別場面や集団場面での活動を設定している。	・今後もガイドラインに沿った個別支援計画に基づき、必要な経験を積むための活動を設定していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・スケジュールの選択の機会設定を設けたり、枠組のなかで自分で決める機会設定を設けたりしている。	・今後も、一人ひとりの特性に合わせた手立てを活用して選択の機会を設定していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・ケースによっては会議に参加し、関係機関との連携を行っている。	・必要に応じて、関係機関と情報共有し、連携を行う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて関係機関との連携を図り、ケースについての情報共有を行っている。	・必要に応じて関係機関との情報共有を行い、他機関連携を行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校行事については保護者と直接情報共有を行っている。送迎時には、学校の先生から体調や様子について教えていただいている。	・必要に応じて関係機関との情報共有を行い、他機関連携を行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・児童発達支援から継続利用の子どもさんが多い。新規で利用する子どもさんについては、必要な箱を行っている。	・移行前のケース記録や資料をもとに、一貫した支援が行えるように努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・保護者向けの学習会で将来の進路に関する情報提供を行っている。	・現在、対象の方は利用されていない。子どもさんのライフステージに応じて必要な情報提供を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・他の児童発達支援センターと共同開催し、広島県発達障害者支援センター職員等より保護者向けの学習会を実施している。 ・また、必要に応じて他事業所と情報共有を行っている。	・他の児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携を行う。積極的に連携を図り、職員の専門スキルを高めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・現在は交流する機会は設定できていない。 ・引き続き、子どもさんの障害特性に応じた活動内容を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			・現在は参加できていない。地域の特性や課題を把握するために今後参加を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時のやり取りや日々の連絡帳での情報共有を行っている。	・共通理解を図り、支援に努めていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者向けの学習会を実施している。特性理解を深めるための情報共有を行っている。	・ご家庭での困りごとの整理、対応方法について一緒に検討していけるよう努める。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・運営規定や利用者負担については契約時に説明を行っている。	・支援内容について保護者の方にわかりやすく説明を行うように努める。また、変更点があれば随時説明を行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・必要に応じて面談等で保護者の方とやりとりをする機会を設け、意向の確認を行っている。	・保護者の方との共通理解のもとで計画を作成し、支援を行えるように努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・年に2回、個人懇談の機会を設定して支援内容の説明を行っている。	・保護者の方との共通理解のもとで計画を作成し、支援を行えるように努める。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎時や連絡帳でのやりとり、必要に応じて電話連絡などを実施し、相談対応を行っている。	・今後もより良い対応が出来るように努める。また、必要に応じて関係機関との連携を行う。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・放課後デイをご利用の保護者の方向けの保護者会は行っていない。保護者のニーズ等を踏まえ、検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情窓口を設けているが、直接ケース担当に相談があることが多い。	・保護者より相談や申し入れがあった場合には速やかに適切な対応を行えるように努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	・活動内容や懇談のお知らせ等の予定は紙面や口頭でお伝えしている。	・現在、定期的な通信などは発行できていない。保護者の方から、事業所全体の様子が知りたいという意見をいただいており、今後手立てや活動の様子等をお知らせできるように共有方法を検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・関係機関との連携や写真掲載時には、保護者に同意を得たうえでやっている。	・事業所、法人全体で個人情報の取扱いに十分注意して業務にあたる。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・保護者に様々な方法で理解していただけるように努めている。	・様々なご家庭にもより分かりやすい説明を行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域住民への広報活動、および来訪者への見学対応を行っている。	・現在、地域住民を対象とした行事企画を行っていない。 ・保護者や地域住民のニーズを踏まえ、活動内容を検討する必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・毎月、児童発達支援の子どもさんと一緒に職員は避難訓練を実施している。	・現在、子どもさん向けに避難訓練は実施できていない。 ・マニュアルをもとに、必要対応方法を職員全体で共有する。保護者への周知には至っていないため、今後必要に応じて情報提供を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・職員全員で訓練を行ったうえでBCPの見直しを行うようにしている。	・非常災害発生時に備え、職員全体で必要な訓練を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に事業所の統一書式にて服薬の有無などの確認を行っている。また、服薬状況について変更があった時には、随時保護者の方と情報共有を行っている。	・事前に十分に確認を行って上で対応を行う。変更があった場合には、職員全体で共有する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・該当の子どもさんは利用されていない。アレルギーの子どもさんが利用する場合は、医師の指示書に基づき対応を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・不審者対応の訓練等を含め、安全管理の為に訓練を行う。また、日々の業務から安全計画の見直しを行う。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・緊急時の対応について保護者の方に説明している。	・安全確保のための取り組みについて、保護者の方に周知を行うように努める。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット発生時には、書面にまとめ職員全体で共有している。	・けがや事故の発生状況や要因を整理し、再発防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止についての研修を受け、職員全体で共通認識を持つようにしている。	・定期的に研修機会を設け、適切な対応に繋げる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・3原則に基づき、必要な対応がある場合は、保護者の方に説明を行い、同意を得て支援を行っている。また、書面への記載を行っている。	・定期的に研修機会を設け、適切な対応方法に繋げる。 ・やむを得ない場合は、事業所全体で協議し、保護者の方に説明と同意を得て行う。	